

様

年 月 日

IRIS＋bevacizumab併用療法

この治療では次の3種の薬を使用します。

ベパシズマブ（アバスチン注）：血管新生を妨げて効果を現します。

イリノテカン（トポテシン注）：細胞のDNAや蛋白合成を妨げ効果を現す。

ティーエスワン：細胞のDNAやRNAの合成を妨げ効果を現す。

＜投与スケジュール＞ …… 4週間 1コース

今回 コース目

＜薬品名＞ ＜投与方法・時間＞	＜薬の作用＞	1コース目				2コース目
		1日目		15日目		29日目
ケラセトロン・デキスト・輸液 ＜点滴30分＞	吐き気止め、アレルギー予防		休薬		休薬	
アバスチン・輸液 ＜点滴30分＞	化学療法剤		休薬		休薬	
トポテシン 輸液 500mL ＜点滴90分＞	化学療法剤		休薬		休薬	
ティーエスワン   	化学療法剤			休薬		
内服＜14日間＞ 休薬＜14日間＞						

＜薬剤投与日の注意＞

- ★ 点滴部位が痛くなったり、腫れたりした場合や点滴が落ちなくなった場合は、薬液が血管外へ漏れていることがありますので、すぐに申し出てください。
- ★ 薬剤の投与は、血液検査やその他必要な検査を行いながら進めていきます。副作用の発現・合併症の有無によって治療の途中でも、薬剤の減量・変更や中止されることがあります。

＜備考＞